

13030 言語教育 I Language Education I		1 年次～ 前期 2 単位	
担当者	猿田 知之	履修可能学科	E Pe Pc C W F
		関 連 資 格	教職・日本語選必(P e) 日本語選必(E・P c・C)
サブタイトル	言葉を磨く		
授業内容 ・ ねらい	努力目標:日常使用する「ことば」への配慮と注意が、いかに教師として重要かを知る。言語感覚を磨くことで、児童の言語的興味を育む。		
授業計画	1 回. 母語としての日本語を改めて考える。 2 回. いわゆる標準語と方言について。 3 回. 言語を通して「自分」を考える。 4 回. 世界の言語の種類と性格を概観する。 5 回. 日本語の性格と特色。 6 回. 言語音に注意する。 7 回. ひらがな・カタカナを正確に書けるか。 8 回. ローマ字を正確に書けるか。	9 回. 日本語表記の補助記号について。 1 0 回. 単語はどのようにして成り立っているか。 1 1 回. 小学校教育と語彙について。 1 2 回. 児童はどのようにして「文」を作るか。 1 3 回. 日本語の「は」と「が」の相違。 1 4 回. 「東京へ(に)行く」等の類義表現。 1 5 回. 総括、日本語とは、どのような言語か。	
教科書 参考書	参) 『新版日本語教育事典』 (大修館書店)		
評価方法	試験の成績に出席率を加味する。		
事前準備学習 履修条件等	事前に次回の講義事項を知らせ、専門用語を調べるよう指示する。		